

告 示

平成23年11月26日付けで公示しました平成24・25年度役員選出について、立候補を平成23年12月16日付け(消印有効)で締め切り、下記のとおり受理しましたので、告示します。

記

1. 候補者氏名(記載は届出受理順)

会長[定数1] 川 雅弘
副会長[定数1] 寺本千秋
理事[定数9] 浦野成之 明間順子 中瀬浩司 杉谷武人 川崎純子 河村岳樹 栩野 崇
夏見 崇 小島徹也
監事[定数2] 小山浩司 林 敦美 桐竹清文

2. 選挙方法

会長、副会長、理事は立候補が定数と一致しましたので、無投票当選となります。
監事は、定数2に対し、立候補者が3名となりましたので、投票選挙を行います。
候補者の詳細は、選挙公報をご参照ください。
同封の投票用紙の注意事項を読んだ上で投票し、同封の返信用封筒を使用し、返送してください。
投票期間:平成23年12月26日(月)~平成24年1月25日(水) 当日消印有効
結果は、投票締切後、立会人同席で開票し、県士会ホームページにて発表します。

以上

平成23年12月26日

一般社団法人 和歌山県作業療法士会 選挙管理委員長 佐藤昌子

選挙公報

1. 氏名 2. 経歴・活動歴など 3. 主旨・抱負など

会長候補



川 雅弘 (かわ まさひろ)

(経歴)

平成5年3月 藍野医療技術専門学校 卒業
平成5年4月 社会福祉法人 琴の浦リハビリテーションセンター入職 現在に至る

(活動歴)

平成7年より 和歌山県作業療法士会理事
学術部、保険部担当理事を経て現在の事務局長を歴任
その他、総会議事運営委員長、規約委員
第24回近畿作業療法学会企画運営委員長
第41回日本作業療法士協会全国研修会実行委員長

(主旨・抱負)

近年、社会保障制度が混沌とするなか、県内においても当士会が行政、関連職団体と関わる機会が年々増えてきている。もっと「作業療法」というものを県民に示す重要性を深く感じている。
これまで以上に、県内での作業療法の学術研鑽を向上していくための組織体制を整備しながら、その技術力を県民に示し「作業療法」の啓発を強めていきたいと思っている。
まだまだ若輩ではあるが、17年間諸先輩方から引き継いだ思いを、副会長をはじめとする役員と一致団結して、県士会のために職責を全うしていきたい。
県士会に対する熱い思いをより高めて挑みたい。

副会長候補



①寺本千秋(てらもとかずあき)

②和歌山県作業療法士会 教育部・学術部・事業部理事を経て、現在、保険部・地域障がい問題対策担当理事。日本作業療法士協会 教育部 生涯教育システム推進委員を経て、現在、保険部員・地域リハ・リーダーを担当。

③今年度、県士会においては一般社団法人格を取得し、また、次年度には診療・介護報酬の同時改訂がなされる。過渡期とも言える次年度は、士会活動の役割をより明確にし、地域社会に貢献できる団体を目指すべく、会長のサポート・各会員が活発に活動できるよう盛り上げていきたい。

理事候補



1. 氏名 浦野 成之 (うらの なりゆき)
2. 経歴・活動歴 平成8年 岡山健康医療技術専門学校卒業後、精神科病院勤務、岡山健康医療技術専門学校(現、岡山医療技術専門学校)の教員を経て、平成15年に現在勤務中の和歌浦病院に就職。現在は、和歌浦病院 社会復帰部チーフ。和歌山県作業療法士会に入会後は、学術部に所属、ブロック長、学術部副部长、学術部長を歴任。勤務の傍ら、通信制大学等を卒業、視野の広い臨床での働きを目指す。
3. 主旨・抱負 和歌山県作業療法士会学術部の運営に携わるなかで、職場の違う作業療法士仲間と温かな関係を築く事ができました。作業療法士協会・和歌山県作業療法士会は私たちの職業を守ってくれる組織であると同時に、作業療法士が共通の信念のもと安心して集える居場所であると考えます。私が理事となりました際には、会員の皆様の意見を広く聞く事のできる体制を考えて行きたいと思います。まずは、私自身が、意見を言ってもらえる理事になることを心掛けます。

理事候補



1. 明間 順子 (あけま じゅんこ)
2. 職歴：2003年 国立療養所近畿中央病院附属リハビリテーション学院卒業
同年 琴の浦リハビリテーションセンター入職 現在に至る
活動歴：2004年…和歌山県作業療法士会 教育部員 2009年…和歌山県作業療法士会 教育部長
2010年…第30回近畿作業療法学会 事務局長
3. 新人の頃より和歌山県作業療法士会の活動に携わってきました。その経験を活かし、今までの先輩方が築いてきた良さを残しながらも会員のために更にこの会をより充実した良いものとするお手伝いをしたいと思います。また若い会員が多い会であるので若い意見にも耳を傾け、女性としての意見を持ち、今後の一般社団法人和歌山県作業療法士会全体を盛り上げていきたいと思っています。

理事候補



1. 中瀬 浩司 (なかせ こうじ)
2. 平成10年 作業療法士免許取得
平成17年 認知症ケア専門士取得
平成19年 介護支援専門員取得
平成19年 和歌山県作業療法士会 理事(財務部担当)
平成22年 一般社団法人和歌山県作業療法士会 理事(財務部担当)
3. 当会は、法人として産声を上げたばかりです。発展途上である当会のため、会員の皆様のため、微力ながら尽くしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

理事候補



杉谷 武人 (すぎたに たけと)

〈経歴〉 平成17~23年度 和歌山県作業療法士会 理事

〈活動歴〉 平成17~22年度 日本作業療法士協会 生涯教育部 生涯教育制度推進委員
平成23年度 日本作業療法士協会 教育部 部員

県内ではまだまだ作業療法が知られていないと感じている会員の方は多いのではないのでしょうか。私は県内での作業療法の発展のためには「一人ひとりの作業療法士の成長と活躍を支えること」が大切で、そのためには「より結束した組織となること」が必要と感じています。この度、その一端に尽力できればと思い、理事に立候補させていただきました。

なにとぞ、よろしくお願ひいたします。

理事候補



1. 川崎 純子 (かわいま じゅんこ)
2. H12.07免許取得 H12.4~H15.4 水間病院勤務
H15.7~済生会和歌山病院勤務 H21.4~和歌山県士会 監事
3. 3年間、監事として県士会活動に携わってきました。又、規約委員会として、県士会活動が適切に行われる様にと考えてきました。今回は、今まで以上に、理事として積極的に活動の運営に尽力していきたく、立候補させていただきます。よろしくお願ひ致します。

理事候補



1. 河村 岳樹 (かわむら たけき)
2. 理事4期、福利厚生担当理事。
3. 私はこれまで8年間福利厚生部担当理事として仕事をさせていただきました。
和歌山県作業療法士会は法人枠を取得し、他団体からも認められる団体に成長しました。協会では組織率が低下している中、和歌山県士会は高い組織率を誇っています。若い会員の皆様が、参加できるような魅力ある県士会活動を目指し、頑張っていく所存であります。どうぞよろしくお願ひします。

理事候補



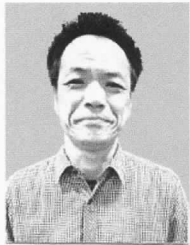
1. ^{とらの} ^{つかし} 羽野 崇
2. 平成17年 栄晋会 中江病院入職 現在に至る。
和歌山県作業療法士会 福利厚生部 部長
3. この度、理事に立候補いたしました、中江病院の羽野です。
3年間、福利厚生部部長を務めさせていただきました。お良しい県士会活動を理事として支えていきたいと強く思うようになりました。会員の皆様とのつながりを大切に活動していければと思っております。
よろしくおねがいします。

理事候補



1. 氏名 : 夏見 崇 (なつみ たかし)
2. 経歴・活動歴 : 2001年~2010年 南紀療育園 (常勤)
2011年~ 南和歌山医療センター小児科専属作業療法士 (非常勤)
ケアセンター・ユウガ (非常勤)
御坊市5歳児健診巡回チーム
2007年~和歌山県作業療法士会理事 (現在2期目)
3. 立候補の主旨・抱負等 : ①和歌山県の地域保健・福祉・学校などに作業療法が作業療法士がもっと身近な存在となること、②県士会員同士がもっと交流できること、この2点を主な課題とし皆様と協力しながら活動を進めて参ります。よろしくお願ひ致します。

理事候補



- こじろ てらおか
1. 小島 徹也
 2. 平成16年 河崎医療技術専門学校卒業
同年 医療法人 田村病院 勤務
平成22年 一般社団法人 和歌山県作業療法士会 理事
 3. 会員の皆様のお力に少しでもなれば、と思い立候補いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

監事候補



- こやま ひろし
1. 小山 浩司
 2. 平成元年 愛媛十全医療学院卒業
愛徳整形外科 勤務
平成6年 辻整形外科 勤務
平成18年 橋本病院 勤務
 3. 違った観点から県士会に協力したい

監事候補



1. 林 敦美 (はやし あつみ)
2. 監事5期目、それ以前は学術・福利厚生・広報などの担当理事。
3. 法人化3年目ということで和歌山県士会の法律ともいうべき和歌山県士会定款、及び定款施行規則にのっとった業務執行状況の監査をより一層強化し、県士会活動が適切に行われているか、会員の意見が県士会の運営に反映されているかをチェックし理事会に提言していきます。また今までの経験を生かして、それが円滑に行われるよう監事のすべき職務の明確化を図りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

監事候補



1. 桐竹 清文(きりたけ きよみ)
2. 昭和62年～平成23年：琴の浦リハビリテーションセンター入職 昭和63年～平成23年：和歌山県作業療法士協会理事 平成16年：神戸大学大学院 医学系研究科 保健学修士取得 平成18年～平成21年：日本作業療法士協会 保健福祉部員 平成16年：日本作業療法士協会 認定作業療法士認定
■著書実績 中枢神経疾患に対する作業療法 234-240, 252-259, 2009
3. 平成18年から法人関係の登記や税理士と連携して収支決算関係に携わってきた経験を、当県士会にて活かしたいと考えています。また、適正な予算、財産目録、収支報告の作成に努め、会員の皆様のお役にたてるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。